平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールB(Seminar of Study B)			授業コード	C172563
担当教員名	菅　雅幸			科目ナンバリングコード	L31205
配当学年	3	開講期	後期		
必修・選択区分	全コース 選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	指導教員の指示にしたがってください。				
受講心得	何を自分の職務とするか、自身の人生の目標を見定めながら研究室を選択し、それぞれの課題に取り組んでください。				
教科書					
参考文献及び指定図書	指導教員の指示にしたがってください。				
関連科目	それぞれの専門分野に関連する全科目				

授業の目的	3年前期の研究ゼミナール1に続き、3年後期に開講します。 半年間の研究ゼミナール1を終えた後、研究ゼミナール1で設定したテーマをさらに追求したい場合は、引き続き同じ研究室で指導を受けます。興味・目標が変化した場合は、コースおよび研究室の変更は自由とし、他の研究室で指導を受けることができます。 研究ゼミナール1で設定したテーマをさらに充実させ、例えば、3次元CADソフトによる課題の作成、上級生である卒業研究生と一緒に設計コンペの作品作成に参加したり、文献研究で理解した事柄の具体的な問題演習をしたりと、研究ゼミナール1に比べて高度な内容となります。 一般的に、ある分野について専門的に学ぶためには、その分野の専門家に接し、自ら専門分野について日常的に取り組むことが大事です。また、3年生の後期という時期は、それまでの努力が実力となって、成果に現れてくる頃でもあります。したがって、研究ゼミナール2は、これまでに増して自主的に参加することが大切です。
授業の概要	

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 :	
第 2 週 :	
第 3 週 :	
第 4 週 :	
第 5 週 :	
第 6 週 :	
第 7 週 :	

第 8 週 :	
第 9 週 :	
第10週 :	
第11週 :	
第12週 :	
第13週 :	
第14週 :	
第15週 :	
第16週 : 期末試験	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。				
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	